

手続き開始の公示等の概要(参考)

本資料は、本工事の手続き開始の公示に示した条件の概要や工事内容をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。

本工事の詳細な内容に関しては、手続き開始の公示及び入札説明書等をご覧下さい。

工事名	東京障害者職業能力開発校体育館（23）機械設備改修その他工事	
工事種別	暖冷房衛生設備工事	
工事場所(都県)	東京都	
工事場所(市区町村)	小平市小川西町2-34-1	
工事概要	敷地面積 8,527m ² 1. 建物 1) 体育館 構造：鉄骨造 地上2階 建築面積：約700 m ² 延べ面積：約800 m ² 工事内容：空気調和設備、換気設備、自動制御設備、給水設備、ガス設備 改設一式 電気設備 改設一式 建築改修一式 2) 本館 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 建築面積：約3,300 m ² 延べ面積：約5,900 m ² 工事内容：自動制御設備 改設一式	
担当事務所	甲武営繕事務所	
公示日/期限日/開札日	R5.4.28 / R5.5.19 / R5.6.26	
工期	工事の始期から213日間 (但し、令和5年8月1日(工事着手期限)までに工事を開始すること。)	
入札契約方式/落札方式	公募型指名競争入札/総合評価落札方式(企業実績評価型)	
指名されるために必要な要件の概要	等級(ランク)	暖冷房衛生設備工事 B等級又はA等級
	本店・支店・営業所の所在地	関東地方整備局管内に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有すること。
	企業の施工実績等	平成20年4月1日以降に、関東地方整備局管内で元請けとして完成・引渡し完了した下記(ア)の要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。ただし、異工種建設工事共同企業体については適用しない。) なお、同種工事の施工実績は建築物における施工実績に限る。また、建築一式工事における施工実績は認めない。 (ア) 空気調和設備(機器及び配管ダクト等の施工)の新設又は改設 ただし、JIS C 9612 ルームエアコンディショナを除く。 ただし、申請できる同種工事の施工実績は2件までとし、これを超える件数の施工実績を申請した場合は、申請されたすべての工事を実績として認めない。施工実績を2件申請した場合、1件の施工実績が確認できれば施工実績として認める。また、軽微なもの(請負代金額が500万円未満の工事)は、実績として認めない。 経常建設共同企業体にあつては、構成員のそれぞれが上記(ア)の施工実績を有すること。 なお、異工種建設工事共同企業体としての実績は、協定書による分担工事の実績のみ同種工事の実績として認める。

「東京障害者職業能力開発校体育館(23)機械設備改修その他工事」の概要(参考)

本資料は、本工事の概要をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。本工事の詳細な内容に関しては、設計図書及び現場説明書等をご覧ください。

【工事の概要】

本工事は、東京障害者職業能力開発校（東京都小平市小川西町2-34-1）において、主に体育館の空気調和設備等を改修するものです。

また自動制御設備について、本館が工事範囲に含まれます。

(1) 主な工事内容

- ・ 空気調和設備：ユニット形空気調和機（2階機械室）、吸収冷温水機ユニット（屋外）等の更新を行います。またダクトの更新は機械室内が範囲となります。
- ・ 換気設備：送風機計3台の更新を行います。
- ・ 自動制御設備：配管・配線の更新を行います。この時、体育館の分電盤から本館内の分電盤まで幹線を新設します。また、本館内のメインシステムで体育館の空調機を操作できるように改修します。
- ・ 給水設備：冷温水ポンプ及び配管類の更新を行います。
- ・ ガス設備：配管の更新を行います。
- ・ 電気設備：動力盤の改修や、照明等の取外し・再取付を行います。
- ・ 建築工事：天井内機器及びダクト類の改修に伴い、天井材の撤去・新設を行います。屋外フェンスの撤去・新設等を行います。

(2) 施工時期、施工条件

- ・ 施工条件、施工日、施工時間等については、現場説明書（現場及び技術に関する事項）を参照してください。
- ・ 仮設足場及び養生については仮設備等計画図（K-01, K-02）を参照してください。

【実態を踏まえた積算の運用、施工条件等の円滑な協議等】

(1) 実態を踏まえた積算の運用

- ・ 法定福利費相当額が反映された実態を踏まえた価格設定を行います。

(2) 入札時積算数量活用方式の適用

- ・ 発注者が示す入札時積算数量書を活用して入札に参加できます。

(3) 施工条件等の円滑な協議

- ・ 契約後発生した新たな調査や条件について、監督職員との協議となります。（請負代金額の変更が必要と判断された内容は設計変更の対象です）

(4) 工事関係図書等の効率化

- ・ 本工事では必要最小限の工事関係図書等とし、その工事関係書類の書式は次よりダウンロードできます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/gi_jyutu/eizen_gi_jyutu00000018.html

(5) 週休2日促進工事の適用

- ・ 本工事は発注者が週休2日に取組むことを指定する発注者指定方式を適用します。

(6) 主任技術者又は監理技術者の扱い

- ・ 本工事は余裕期間（任意着手方式）を設定しています。

- ・工事の始期を令和5年8月1日（工事着手期限）までの間で任意に設定でき、この期間の主任技術者又は監理技術者の配置は不要です。

(7)見積活用方式の試行

- ・工事の実勢価格を予定価格へ適切に反映するため、本工事の一部に関して見積書を提出し、その妥当性が確認できた場合には予定価格作成のための参考とします。

(8)適切な工期の確保について

- ・本工事においては、資機材及び機器等（以下、「機器等」という。）について、標準的な納期を元にした工期としています。昨今の機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成できない等、工期の延期等についての申し出等があった場合には、適切に協議に応じ、工事の一時中止等の適切な措置、及び状況に応じて必要な契約変更を実施します。